



家庭用

コーヒーマーカー

メッシュフィルター・

ドリップポッド対応

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



ご意見をお寄せください。

<http://www.tiger.jp/>

この製品は日本国内交流 100V 専用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。

また、海外でのアフターサービスもできません。

This product uses only 100 V (volts), which is specifically designed for use in Japan. It cannot be used in other countries with different voltage, power frequency requirements, or receive after-sales service abroad.

本产品仅限于日本国内的 100V 交流电压下使用。不可在日本之外的国家的不同电压和电源频率下使用。在海外也不提供售后服务。

香り立つ、本格コーヒーを ご家庭でお楽しみください

家族や友達と過ごす楽しい時間、
のんびりくつろぐときに…
ちよつぷり贅沢な
コーヒー生活をはじめましょう。



お好みの コーヒー粉を使って メッシュフィルターで ドリップ

→P.12 ~ 17

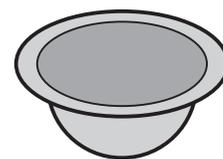
ペーパーフィルターが不要のメッシュフィルター。
カップに直接ドリップすることができます。
氷を入れて、アイスコーヒーとしてもどうぞ。



コーヒー以外にも 楽しめる ドリップポッド

→P.18 ~ 21

「ドリップポッド」は、レギュラーコーヒーや
紅茶、緑茶などを1杯分ずつ不織布で成型し
た半円形のカートリッジに詰めたものです。



- ◆ドリップポッドは、UCC上島珈琲株式会社の登録商標です。
- ◆ドリップポッドのお買い求めは下記へ
 - ・タイガーオンラインショップ
<http://tiger-netshop.jp>
 - ・UCCお問い合わせ先
電話：フリーダイヤル 0120-655-233
- ◆UCCエコポッドは、ドリップポッドと同様に
お使いいただけます。

もくじ

安全上のご注意 …… 4

各部のなまえと付属品 …… 8

使う
はじめて使うとき
しばらく使わなかったとき… 10
メッシュフィルターを使って
コーヒーをいれる… 12

ドリップポッドを使って
コーヒーなどをいれる… 18

お手入れ
お手入れする …… 22

- 使うたびに洗う部品 …… 22
- 汚れるたびにお手入れする箇所 …… 23
- 各パッキンのつけかた …… 23
- ドリップのお湯の出具合が悪くなったとき… 24

こんなときは
本体内部に残った水を
排水する(クリーニング) …… 24
故障かな?と思ったら …… 25
消耗品・別売品の
お買い求めについて …… 26

- 樹脂部品(傷んできたとき) …… 26
- パッキン・メッシュフィルター(消耗品) …… 26

仕様 …… 26

保証とサービスについて …… 27

連絡先 …… 27

◆この取扱説明書では、コーヒー豆を挽いた後のものをコーヒー粉として表記しています。
◆コーヒー粉やドリップポッドに関するお問合せは、それぞれの販売元へお問合せください。

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。



- ◆ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- ◆本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。

警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷^{*1}を負うことが想定される内容を示します。

注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害^{*2}を負うことが想定されるか、または物的損害^{*3}の発生が想定される内容を示します。

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。



○記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

警告



改造はしない。
修理技術者以外の方は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。



交流100V以外では使わない。
（日本国内100V専用）
火災・感電の原因。



定格15A以上のコンセントを単独で使う。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。



電源コードは、破損したまま使わない。
また、電源コードを傷つけない。
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。



差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。



差込プラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。



電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
感電・ショート・発火の原因。



ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。



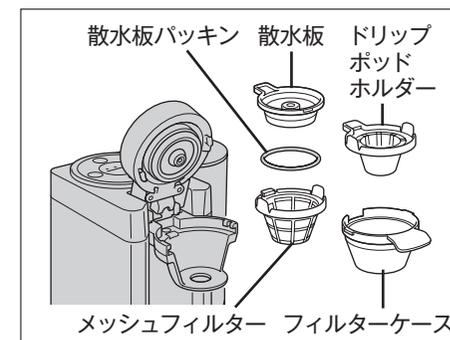
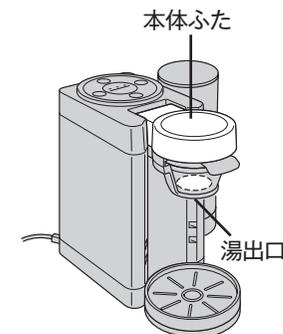
カップをトレイにセットしていない状態で使わない。
やけどや故障のおそれ。



子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。



使用中や使用後しばらくは本体ふた・湯出口・フィルターケース・メッシュフィルター・散水板・散水板パッキン・ドリップポッドホルダーなどの高温部に触ったり、顔などを近づけない。
やけどをするおそれ。特に乳幼児には、触らせないように注意する。



本体を丸洗いや本体内部や底部に水を入れたりしない。
ショート・感電のおそれ。

警告

禁止 抽出中・抽出直後・**[OFF]** キーを押した直後は、本体ふたを開けない。
湯出口からお湯や蒸気が出て、やけどをするおそれ。

必ず実施 異常・故障時には、直ちに使用を中止する。
そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれ。
(異常・故障例)
・ご使用中、電源コード、差込プラグが異常に熱くなる。
・電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
・水タンクや本体から水もれする。
・その他の異常や故障がある。
すぐにプラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。

注意

必ず実施 使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
プラグを抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

必ず実施 必ず差込プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。

禁止 タコ足配線はしない。
火災のおそれ。

禁止 不安定な場所、熱に弱いテーブル・敷物などの上では使わない。
火災や、テーブル・敷物の変色・変形の原因。

禁止 壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因。キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。

禁止 倒したり落としたりぶついたり、強い衝撃を与えない。
故障や、水タンク・水タンクふたなどが破損してけがをするおそれ。

禁止 抽出中にカップなどをはずさない。
やけどや、テーブル・敷物を汚す原因。

禁止 カップなどをのせたまま本体を動かさない。
やけどやけがの原因。

禁止 極細挽きのコーヒー粉は使わない。
メッシュフィルターが目詰まりし、コーヒーがあふれてやけどのおそれ。

禁止 最大量(目盛「MAX」)を超える量のコーヒー粉を入れない。
コーヒーがあふれてやけどのおそれ。
目盛「MAX」を超えて入れない



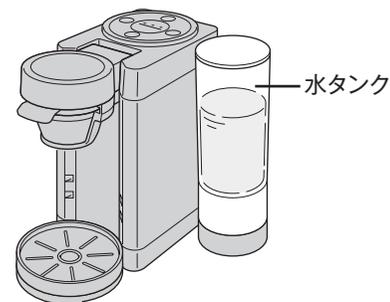
禁止 トレイをはずして使わない。
やけどや、テーブル・敷物を汚す原因。

必ず実施 続けて使用するときには、本体の熱が冷めるまで待つ。
本体が熱い状態で水を入れたり、動かしたりすると、蒸気が噴出してやけどをするおそれ。

必ず実施 お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれると、やけどのおそれ。

末長くご使用いただくためのご注意

- 火気の近くでは使わない。
変形・故障の原因。
- 業務用として使わない。
故障の原因。
- 水タンクに水以外のものを入れない。
故障の原因。



- UCCのドリップポッド以外は使わない。
→P.2・3
うまく抽出できない・故障・コーヒーがあふれる・抽出中に本体ふたが開く原因。
UCCのエコポッドはお使いいただけます。
- 抽出中は、水タンクをはずさない。
本体内にたまった水が逆流して、水もれや故障の原因。
- 水タンクに水を入れたまま放置しない。
故障や変色・におい・腐敗の原因。

- ミネラルウォーター（特にヨーロッパ産などのミネラルウォーター）を使用した場合は、よりこまめにお手入れする。

本体内部にカルシウム分が付着し、抽出時間が長くなったり、最後までドリップできなくなる場合があります。また、付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯の出口をふさぐなど、故障の原因。

- フィルターケース・メッシュフィルター・散水板・散水板パッキン・ドリップポッドホルダーは、使うたびにお手入れする。

においの原因。

- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。

変形や破損の原因。

各部のなまえと付属品

箱を開けたら、
まず確認しましょう

レギュラードリップのとき	ドリップポッドのとき
散水板	
	
散水板パッキン※1	
	
メッシュフィルター	
	
フィルターケース※2	ドリップポッドホルダー
	
	フィルターケース※2
	

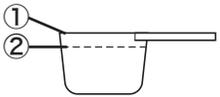
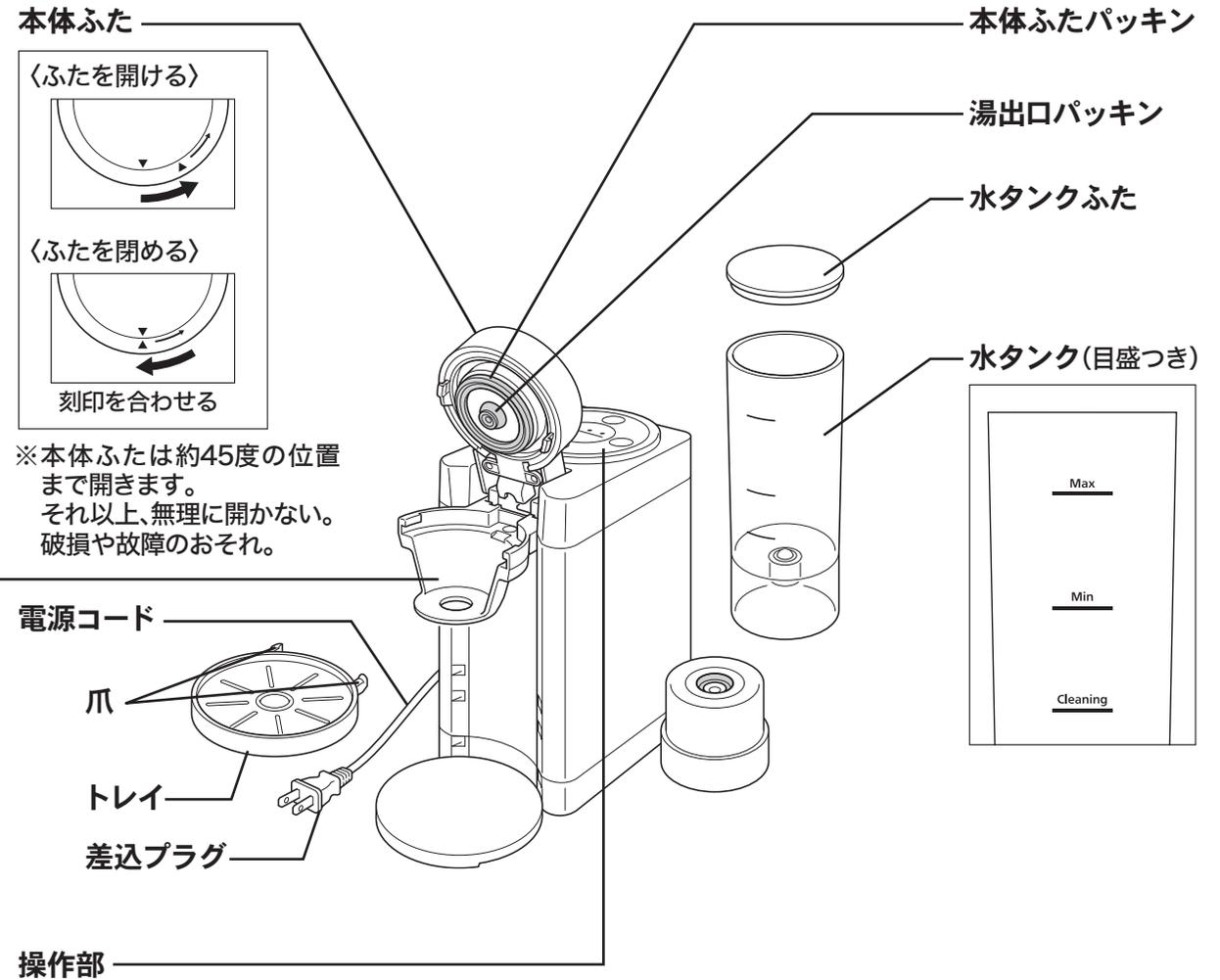
※1 散水板パッキンは必ず散水板に取りつけてください。
 ※2 フィルターケースは色に関係なくご使用できます。

付属品

計量スプーン…1個



①すり切り1杯 約10g
 ②内側の線まで 約8g

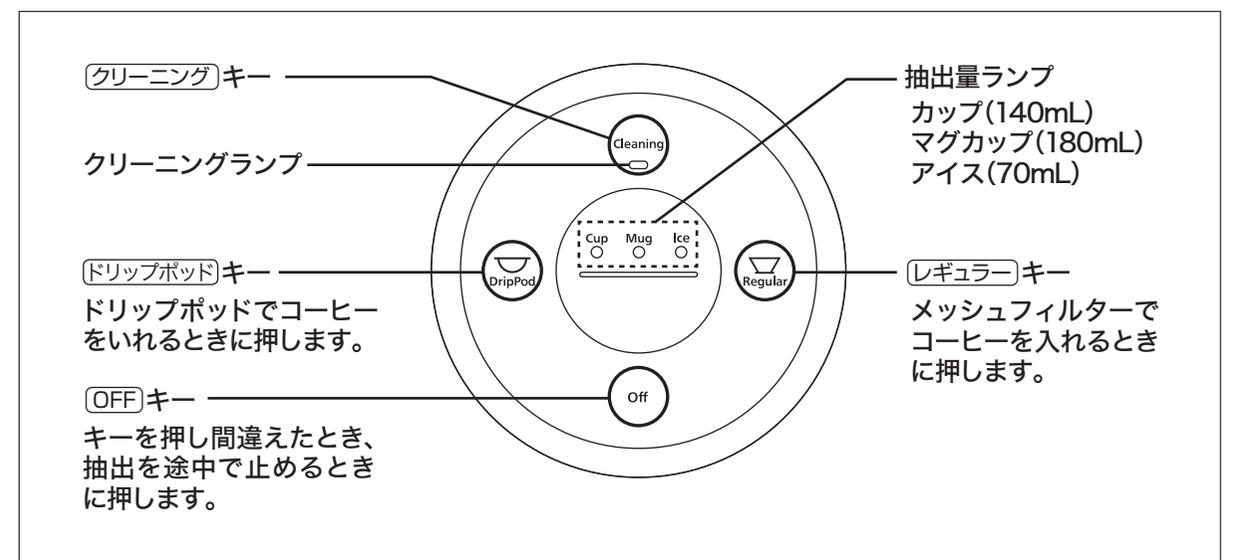
本体ふた — 本体ふたパッキン
 湯出口パッキン
 水タンクふた
 水タンク(目盛つき)
 電源コード
 爪
 トレイ
 差込プラグ

〈ふたを開ける〉
 〈ふたを閉める〉
 刻印を合わせる

※本体ふたは約45度の位置まで開きます。それ以上、無理に開かない。破損や故障のおそれ。

Max
 Min
 Cleaning

操作部



〈クリーニング〉キー — クリーニングランプ
 抽出量ランプ
 カップ(140mL)
 マグカップ(180mL)
 アイス(70mL)

〈ドリップポッド〉キー — ドリップポッドでコーヒーをいれるときに押します。

〈レギュラー〉キー — メッシュフィルターでコーヒーを入れるときに押します。

〈OFF〉キー — キーを押し間違えたとき、抽出を途中で止めるときに押します。

はじめて使うとき しばらく使わなかったとき

お手入れして、ドリップで本体内を洗浄。
コーヒーマーカーをきれいにするのが、
おいしいコーヒーづくりの第一歩！

1

本体以外の部品を洗う。
→P.22 ~ 23

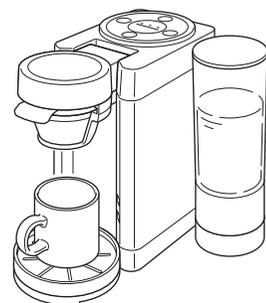
<はずして丸洗いでできる部品>



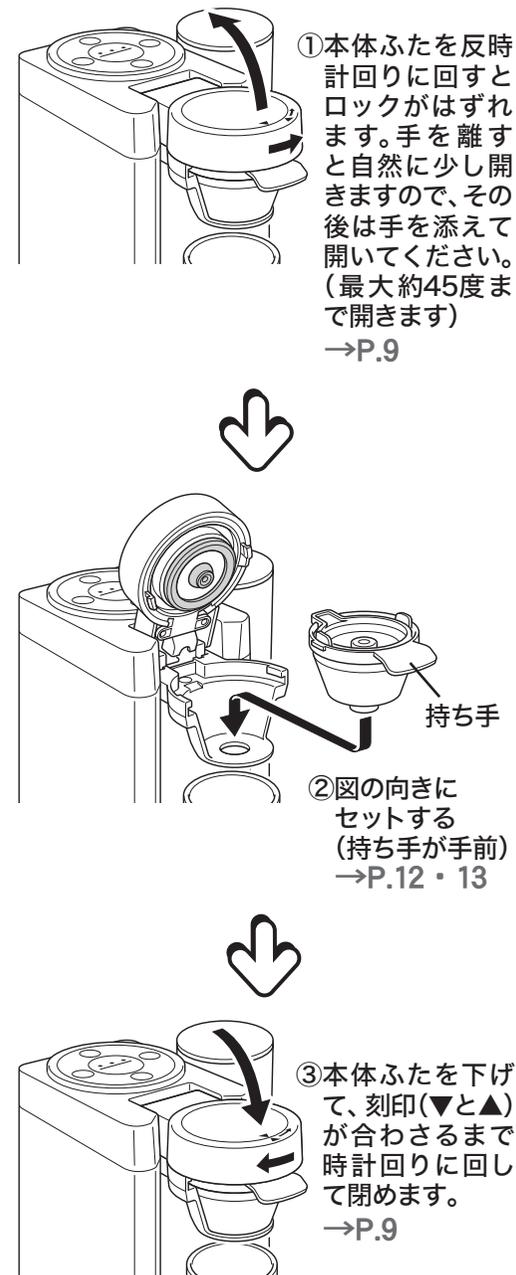
2

本体内を洗浄するために、
1~2回ドリップする。
→P.12 ~ 17

水タンクが目盛「Min」～「Max」の間に水を入れる。
(コーヒー粉は、セットしない。)
1回ドリップするごとにマグカップのお湯はすてる。
容量250mL以上のマグカップを使用する。



本体ふたの開閉と
フィルターケースのセットのしかた



ご注意

- ◆トレイは確実にセットする。
- ◆水タンク以外に水を入れない。

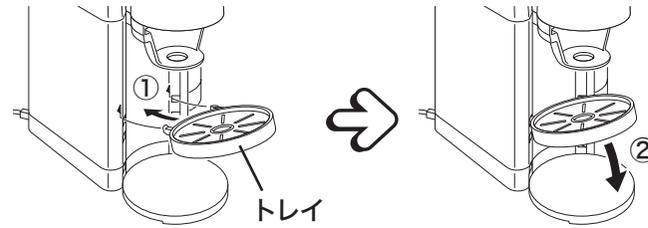
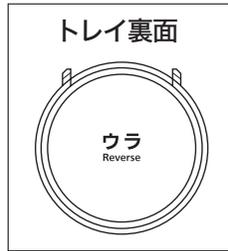
メッシュフィルターを 使ってコーヒーをいれる



1

トレイをカップの高さに合わせて
確実にセットする。

3段階の高さ調整ができます。

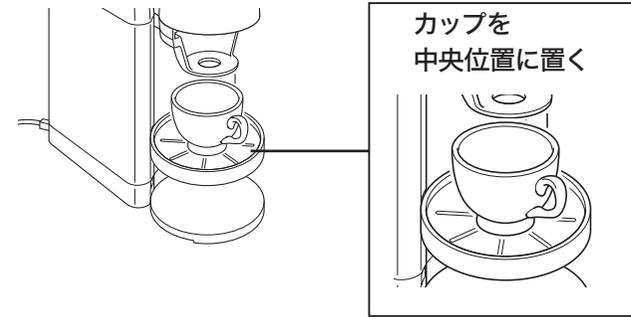


ウラの表示(左図)を下に向け、
トレイを傾けて爪を2ヶ所と
も、本体の穴に差し込む。

爪が確実に差し込まれて
いることを確認し、トレイ
を水平に、確実に固定する。

2

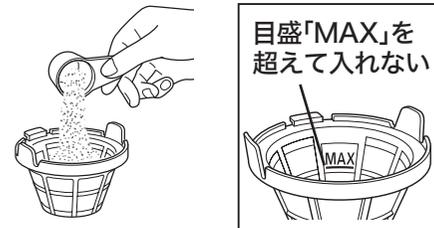
カップをトレイの中央位置に置く。



3

付属の計量スプーンで、コーヒー粉
をメッシュフィルターに入れる。

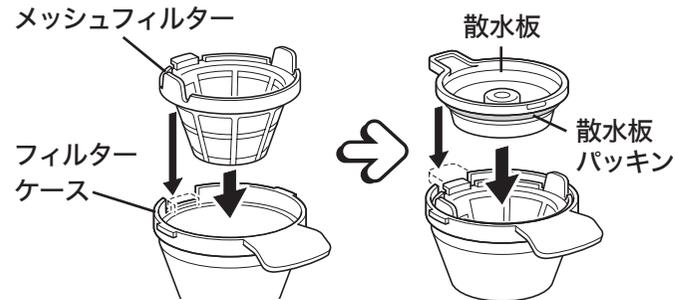
コーヒー粉を入れる目安→右表



4

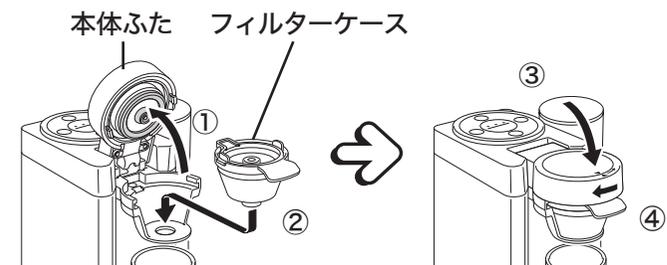
メッシュフィルターをフィルター
ケースにセットして、コーヒー粉の
上面をならし、散水板パッキン
を取りつけた散水板をセットする。

【アイスコーヒーをつくるとき】
アイス用コーヒー粉を使います。



5

本体ふたを開けて、
フィルターケースをセットし
本体ふたを閉める。→P.11



本体ふたの刻印(▼と▲)
を確実に合わせる。

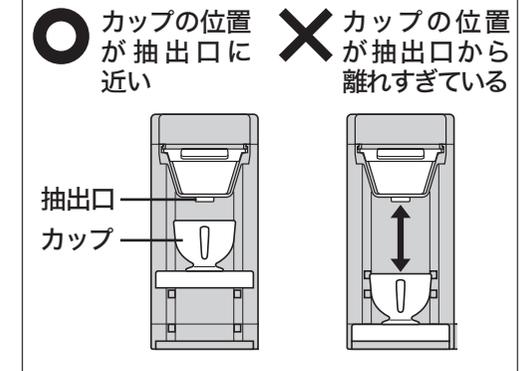
コーヒー粉を入れる目安

コーヒー粉の量はお好みにより加減する。
ただし、目盛「MAX」を超えた量のコーヒー
粉を入れない。コーヒーがあふれてやけど
のおそれ。

カップ(Cup) 約140mL	計量スプーン内側の線まで
マグカップ(Mug) 約180mL	計量スプーンすり切り1杯
アイス(Ice) 約70mL	計量スプーン内側の線まで

トレイのセット位置について

カップの上端が抽出口から離れすぎないように、
トレイをセットする。
コーヒーが飛び散り、やけどや汚れのおそれ。



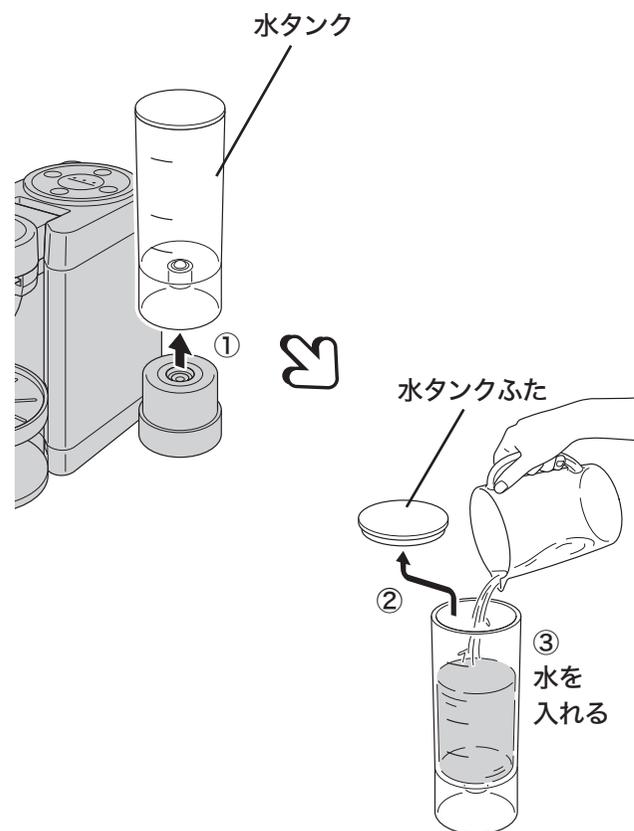
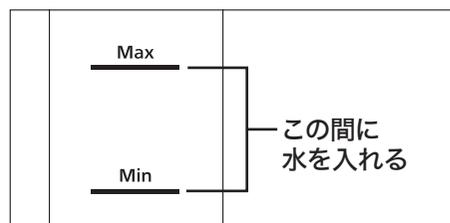
ご注意

- ◆高さ調整をしたトレイに強い力を加えない。
爪が破損するおそれ。
- ◆散水板パッキンは必ず散水板に取りつける。
コーヒーがあふれてやけどのおそれ。
- ◆散水板は必ずフィルターケースに取りつける。
電源が入らない原因。
- ◆本体ふたは確実に閉める。使用中にふたが
開き、お湯が飛び散りやけどのおそれ。
- ◆極細挽きのコーヒー粉は使わない。メッ
シュフィルターが目詰まりし、コーヒーが
あふれてやけどのおそれ。
中細挽き以上の粗さのコーヒー粉を使う。
- ◆熱に弱い素材のカップは使用しない(耐熱
温度120度以上のもの)。変形のおそれ。
- ◆トレイやカップは確実にセットする。
- ◆カップの形状や置きかたによっては、コー
ヒーが飛び散るおそれ。

メッシュフィルターを
使ってコーヒーをいれる

6 水タンクをはずし、
水タンクに水を入れる。

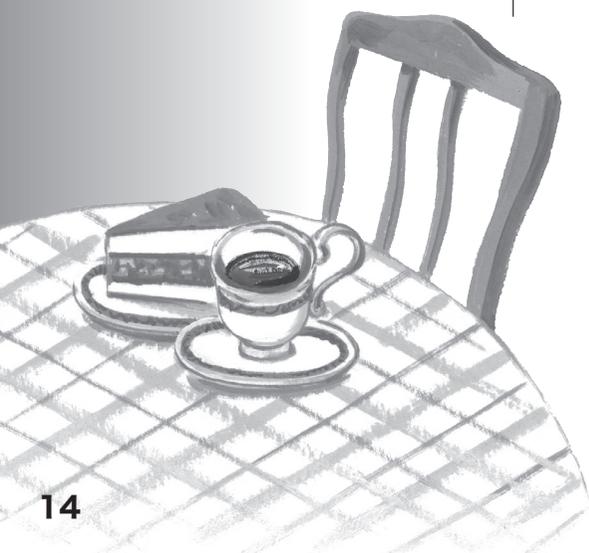
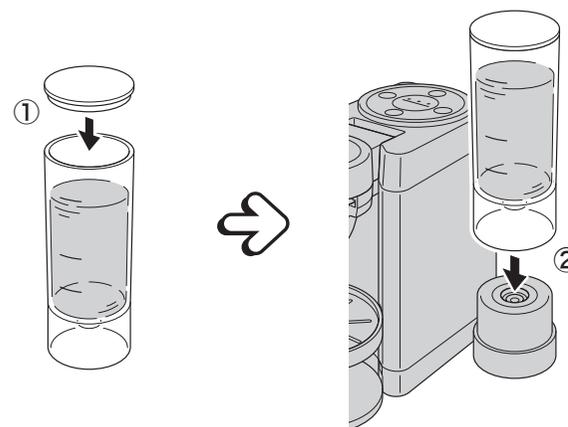
水タンクが目盛「Min」～「Max」の間に水を入れる。



水タンクについて

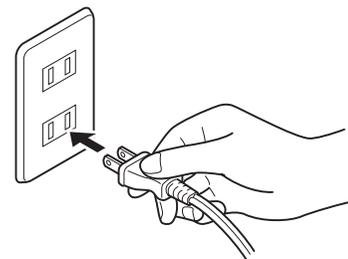
水タンクには、水を入れる。
お湯や熱湯を入れてドリップすると、故障の
原因になります。

7 水タンクふたを閉め、
水タンクを本体に
確実にセットする。



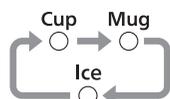
メッシュフィルターを使って コーヒーをいれる

8 差込プラグをコンセントに差し込む。



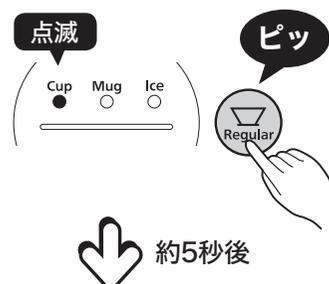
9  を押して、お好みの抽出量を選ぶ。

レギュラーキーを押すごとに、抽出量（カップ140mL、マグカップ180mL、アイス70mL）が切り替わります。

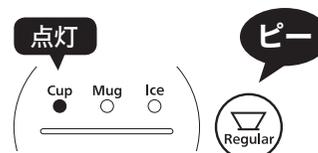


抽出量ランプが約5秒間点滅し、ランプが点灯に切り替わったら、ドリップを開始します。

※ドリップ中は、ポンプの動作音が鳴ります。
※カップのサイズに合わせたキーを選択しないとカップからコーヒーがあふれるおそれがあります。



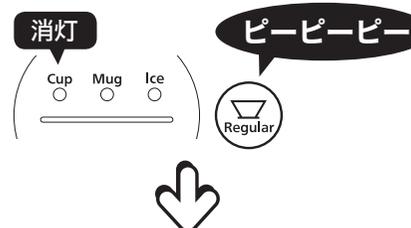
約5秒後



10 ドリップが終わったら
ピーピーピーと音が鳴り、
抽出量ランプが消灯。
カップを取り出す。

コーヒーや蒸気が完全に止まってから取り出す。

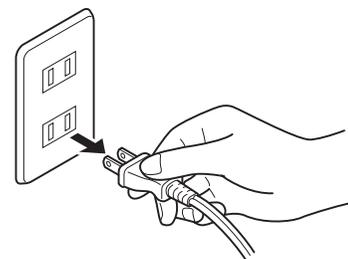
【アイスコーヒーをつくるとき】
コーヒーをドリップした後、カップに氷を入れる。



↓



11 差込プラグをコンセントから抜く。

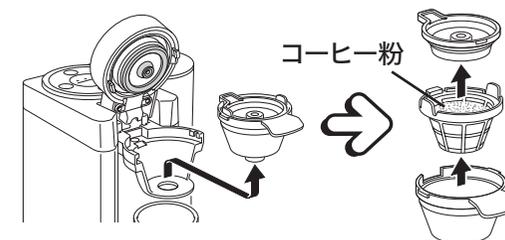


熱めのコーヒーをお好みの方は

あらかじめ熱湯などで温めておいたカップにドリップする。

ドリップ後のコーヒー粉は取り出す

冷めてから、フィルターケースごと取り出し、散水板をはずしてすてる。



続けてつくるとき

- ① 本体が熱くなったときは、本体が冷めるまで待つ。
- ② P.12からの手順で、再度、ドリップする。

できあがり時間の目安

カップ(Cup)	約2分30秒
マグカップ(Mug)	約3分
アイス(Ice)	約2分30秒

※できあがり時間は、室温・水量・コーヒー粉の量などにより変わります。

キーを押し間違えたり、
ドリップを途中で止めたいとき

OFF キーを押す。

ご注意

- ◆ 抽出中・抽出直後・OFFキーを押した直後は本体ふたを開けない。湯出口からお湯や蒸気が出て、やけどのおそれ。
- ◆ 抽出中にコンセントは抜かない。
- ◆ 抽出後しばらくは、湯出口からコーヒーが落ちるので注意する。

ドリッポポッドを使って コーヒーなどをいれる

ドリッポポッドで、コーヒーや紅茶などを
1杯分ずつ手軽に抽出できて便利！

1 トレイをカップの高さに合わせて
確実にセットする。→P.12・13

3段階の高さ調整ができます。

2 カップをトレイの中央位置に置く。
→P.12・13

3 ドリッポポッドを個包装の
ケースから取り出し、ドリッポポッド
ホルダーにセットする。

ドリッポポッドの向きを確認してセットする。
正しくセットしないときちんとドリッポされず、うすく
なることがあります。
また、蒸気もれが発生するおそれ。

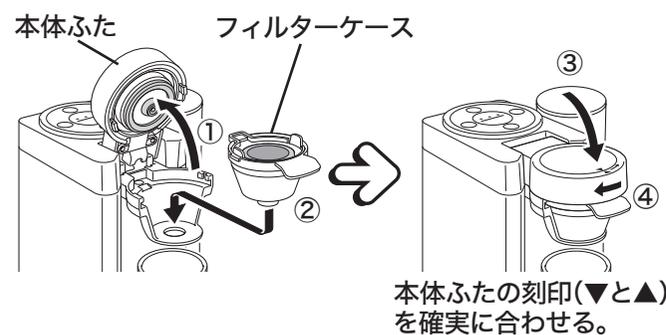
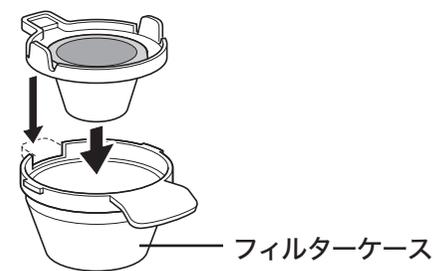
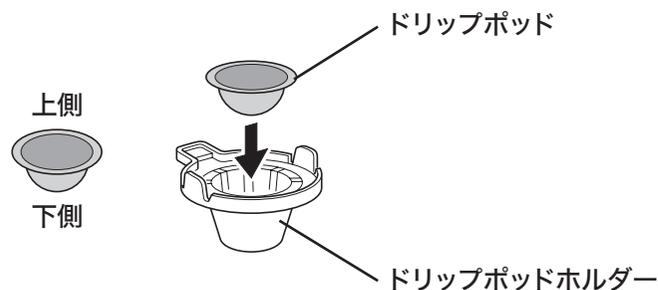
4 ドリッポポッドホルダーをフィル
ターケースにセットする。

5 本体ふたを開けて、
フィルターケースをセットし
本体ふたを閉める。→P.11

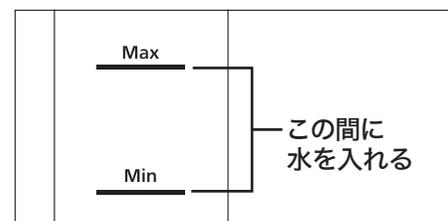
6 水タンクをはずし、水タンクに水
を入れる。

→P.14・15

水タンクが目盛「Min」～「Max」の間に水を入れる。



【水タンクが目盛】

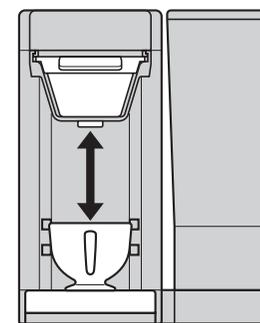


トレイのセット位置について

カップの上端が抽出口から離れすぎないように、トレイをセットする。
飲みものが飛び散り、やけどや汚れのおそれ。



✕ カップの位置が
抽出口から
離れすぎている



ご注意

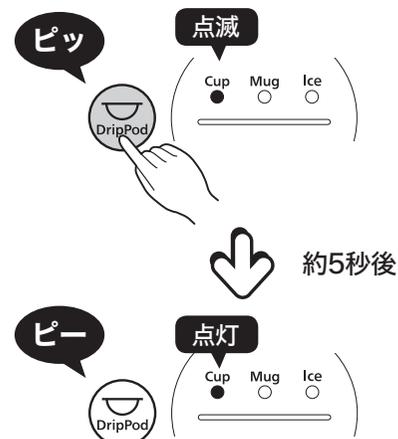
- ◆ 高さ調整をしたトレイに強い力を加えない。爪が破損するおそれ。
- ◆ 破れたり、粉がもれたりしたドリッポポッドは使わない。
- ◆ ドリッポポッドホルダーにコーヒー粉は使えません。
- ◆ 本体ふたは確実に閉める。使用中にふたが開き、お湯が飛び散りやけどのおそれ。
- ◆ 熱に弱い素材のカップは使用しない(耐熱温度120度以上のもの)。変形のおそれ。
- ◆ トレイやカップは確実にセットする。
- ◆ カップの形状や置きかたによっては、飲みものが飛び散るおそれ。

ドリッポッドを使っ てコーヒーをいれる

7 水タンクふたを閉め、水タンクを
本体に確実にセットする。
→P.14・15

8 差込プラグを
コンセントに差し込む。

9  を押して、お好みの抽出量を選ぶ。
ドリッポッドキーを押すことに、抽出量
(カップ140mL、マグカップ180mL、
アイス70mL) が切り替わります。
抽出量ランプが約5秒間点滅し、ランプが点灯に切り
替わったら、ドリッポッドを開始します。
※ドリッポッド中は、ポンプの動作音が鳴ります。
※カップのサイズに合わせたキーを選択しないと、カッ
プから飲みものがあふれるおそれがあります。



10 ドリッポッドが終わったら、
ピーピーピーと音が鳴り
抽出量ランプが消灯。
カップを取り出す。

飲みものや蒸気が完全に止まってから取り出す。

【アイスコーヒーをつくるとき】
コーヒーをドリッポッドした後、カップに氷を入れる。



11 差込プラグをコンセントから抜く。

ドリッポッド使用時の推奨抽出量

コーヒー (標準抽出量)	カップ(Cup) 約140mL
緑茶、紅茶	マグカップ(Mug) 約180mL
アイスコーヒー	アイス(Ice) 約70mL

※ドリッポッドの種類によっては、個包装に
記載されているおすめの抽出量が異なる
場合があります。本製品では上記の抽出量
を選択いただくことで適切な風味になること
を確認しております。お客様のお好みに合
わせて3種類の抽出量からお試ください。

できあがり時間の目安

カップ(Cup)	約2分
マグカップ(Mug)	約2分30秒
アイス(Ice)	約1分30秒

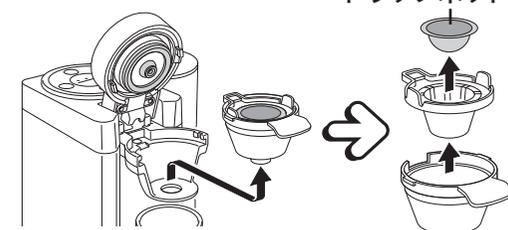
※できあがり時間は、室温・水量などにより
変わります。

キーを押し間違えたり、 抽出を途中で止めたいとき

OFF キーを押す。

抽出後のドリッポッドは取り出す

冷めてから、フィルターケースごと取り出し、
ドリッポッドをすてる。 ドリッポッド



ご注意

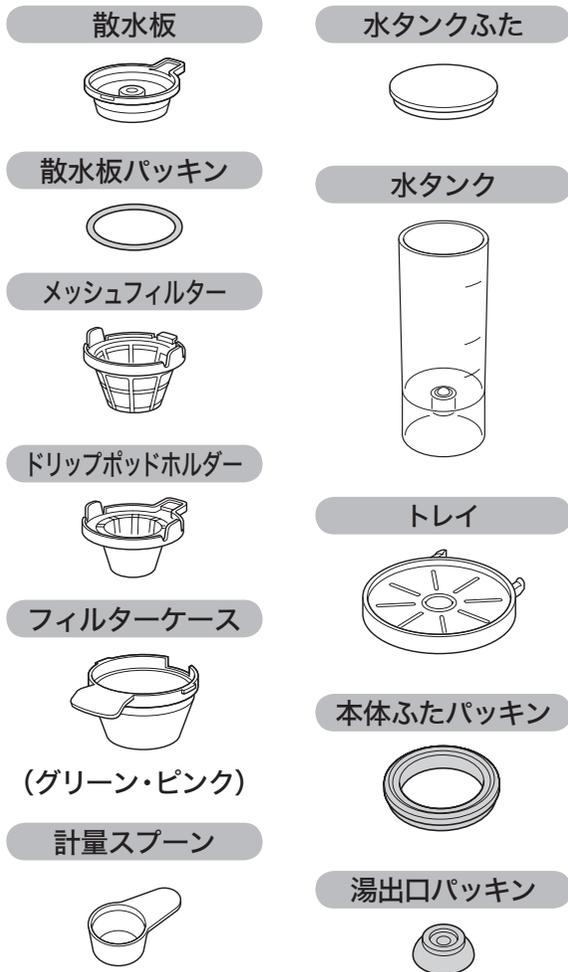
- ◆抽出中・抽出直後・OFFキーを押した直後
は本体ふたを開けない。湯出口からお湯
や蒸気が出て、やけどのおそれ。
- ◆抽出中にコンセントは抜かない。
- ◆抽出後しばらくは、湯出口から飲みものが
落ちるので注意する。
- ◆抽出後のドリッポッドは、冷めてから
取り出す。やけどのおそれ。
- ◆ドリッポッドをセットした状態で
レギュラーキーを選択しない。フィルター
ケースから飲みものがあふれてやけどや
故障のおそれ。

お手入れする

こまめにお手入れして、
清潔・長持ち！

- ◆ 差込プラグを抜き、冷めてからお手入れします。
- ◆ 洗剤でお手入れするときは、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を使い、十分に洗い流す。
※ 洗剤分が残っていると、樹脂などの劣化・変色の原因になるので、十分に洗い流す。
- ◆ スポンジ・歯ブラシ・布はやわらかいものを使います。

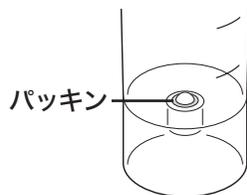
使うたびに洗う部品



- 1 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水ですすぐ。
- 2 乾いた布で水分をふき取り、十分に乾燥させる。

ご注意

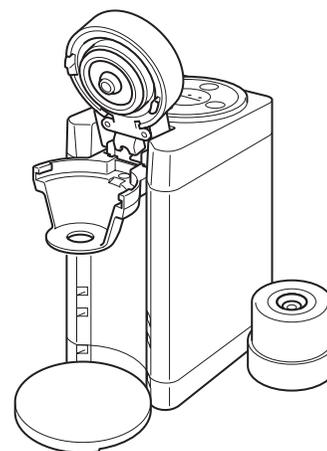
- ◆ シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- ◆ 食器洗浄機や食器乾燥器、熱湯などは使わない。
- ◆ 水タンクのパッキンは、はずさない。
水もれの原因。
- ◆ メッシュフィルターは穴が空くとコーヒー粉がもれるので、やわらかいスポンジを使ってお手入れしてください。



汚れるたびにお手入れする箇所

本体

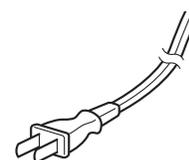
- 1 洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。
- 2 乾いた布で、水分・洗剤分をふき取り、十分に乾燥させる。



電源コード

差込プラグ

乾いた布でふく。



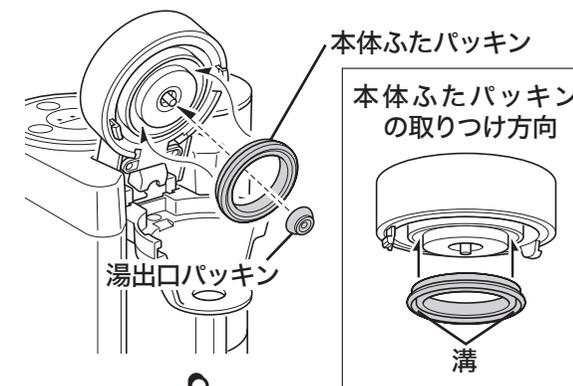
ご注意

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

各パッキンのつけかた

下記のパッキンは、はずしてお手入れできます。各パッキンをはずしたり、ずれたりしたときは、各パッキンの方向に注意してきっちりはめ込む。

本体ふたパッキン 湯出口パッキン



親指以外の指で本体ふた全体を支えながら



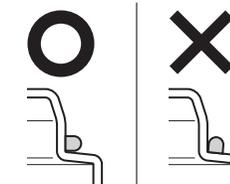
散水板パッキン

奥まで確実にめ込む。

散水板パッキン



パッキンを誤った方向につけない。
コーヒーがあふれてやけどのおそれがあります。



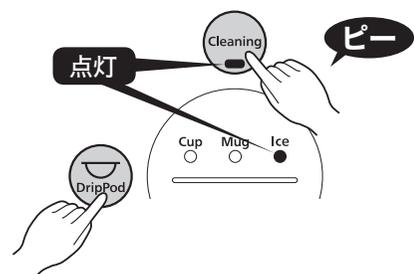
ご注意

本体ふたパッキン・湯出口パッキンを無理に押し込むと、本体ふたが通常開く範囲（約45度）を越えて開き、破損や故障のおそれ。

ドリップのお湯の出具合が悪くなったとき

クエン酸を使って、本体内を洗浄する。

- ① トレイをマグカップの高さに合わせてセットする。→P.12
容量250mL以上のマグカップを使用する。
- ② マグカップをトレイの中央位置に置く。→P.12
- ③ フィルターケースにメッシュフィルター、散水板、散水板パッキンをつけ(または、フィルターケースにドリップポッドホルダーをつけ)、本体にセットする。→P.12、18
- ④ 水タンクにクエン酸約10g(大さじ1杯)を入れ、水タンクの目盛「Max」まで水を入れて混ぜる。
- ⑤ 水タンクふたを閉め、水タンクを本体に確実にセットする。→P.14
- ⑥ 差込プラグをコンセントに差し込む。→P.16
- ⑦ **クリーニング**キーと**ドリップポッド**キーを同時に2秒以上長押しすると、クリーニングランプとアイスランプが点灯し、クエン酸洗浄を開始する。



- ⑧ ピーピーピーと鳴って、クエン酸洗浄が自動的に止まる。
- ⑨ 約10分たったら、水タンクに残ったクエン酸水をすてて、すすぐ。
- ⑩ マグカップのお湯をすてる。
- ⑪ クエン酸水を洗い流すために、水タンクの目盛「Max」まで水を入れ、**レギュラー**キーまたは**ドリップポッド**キーを押して1～4回ドリップする。→P.12、18
※コーヒー粉やドリップポッドはセットしない。1回ドリップすることにマグカップのお湯をすてる。

クエン酸のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または、「連絡先」(P.27)に記載のタイガーお客様相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページでお買い求めください。

品名	電気ポット内容器洗浄用クエン酸(約30g×4包入り)
品番	PKS-0120

※クエン酸は、食品添加物として使用されており、食品衛生上無害です。

本体内部に残った水を排水する(クリーニング)

クリーニングが必要な場合

- ◆ 使用後、しばらく使わないとき。
- ◆ 前回使用してから、しばらく使わなかったとき。
- ◆ ミネラルウォーターを使用している場合。

- ① トレイをマグカップの高さに合わせてセットする。→P.12
容量250mL以上のマグカップを使用する。
- ② マグカップをトレイの中央位置に置く。→P.12
- ③ フィルターケースにメッシュフィルター、散水板、散水板パッキンをつけ(または、フィルターケースにドリップポッドホルダーをつけ)、本体にセットする。→P.12、18
- ④ 水タンクの目盛「Cleaning(クリーニング)」まで水を入れて、本体にセットする。→P.14

- ⑤ 差込プラグをコンセントに差し込む。→P.16

- ⑥ **クリーニング**キーを押す。
クリーニングランプが約5秒間点滅し、ランプが点灯に切り替わったら、クリーニングを開始します。



- ⑦ クリーニングが終わったら(水がなくなったら)、ピーピーピーと鳴って、クリーニングランプが消灯し自動的に止まる。
- ⑧ 本体ふたを開ける。
- ⑨ マグカップの水をすてる。
- ⑩ 水タンクに水が残っている場合は水をすてる。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認ください	直しかた	参照ページ
キーを押しても、反応しない。	差込プラグをコンセントに差し込んでいますか。	差込プラグをコンセントに差し込む。	16・17 20・21
お湯が出ない。	水タンクに水が入っていますか。	水タンクに水を入れる。	14・15 18・19 20・21
	水タンクがセットされていますか。	正しく確実にセットする。	
	湯出口に汚れが付着していませんか。	お手入れする。	24
お湯の出具合が悪い。(時間がいつもより長くかかる)	—	クエン酸を使って本体内を洗浄する。	24
お湯がにおう。	—	クエン酸を使って本体内を洗浄する。	24
カップから飲みものがあふれる。	セットする部品を間違えていませんか。	以下の部品をセットする。 ●レギュラードリップのとき フィルターケース・メッシュフィルター・散水板・散水板パッキン ●ドリップポッドのとき フィルターケース・ドリップポッドホルダー	8・12 13・18 19
	カップに合わせた抽出量を選択していますか。	カップに合わせた抽出量を選択する。	16・17 20・21
抽出中に本体ふたが開く。	本体ふたを確実に閉めていますか。	本体ふたを確実に閉める。	9・11 12・13 18・19
飲みものがうすい。(ドリップポッド使用時)	ドリップポッドを正しくセットしていますか。	ドリップポッドの向きを確認する。	18・19
ランプが光らず、「ピピピ」と音が鳴って、動作が開始しない。	本体ふたが開いた状態、もしくは散水板やドリップポッドホルダーをセットしていない状態でキーを押していませんか。	散水板やドリップポッドホルダーをセットした状態で本体ふたを閉めてから、キーを押す。	12・13 18・19
クリーニングランプとマグカップランプが同時に点滅し、「ピピピ」と音が鳴る。	温度センサーの故障	お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。	—
全てのランプが同時に点滅し、「ピー」と音が鳴る。	ヒーターの故障	お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。	—

故障かな?と思ったら

こんなとき	理由
飲みものがぬるい。	▶ 寒冷地など、使用環境の厳しい状況では、カップを一度温めてから使用してください。
樹脂部にキズ(欠け)のように見える箇所がある。	▶ 樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。
樹脂などのおいがする。	▶ 使いはじめのうちは、樹脂などのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。
本体上部が熱くなる。	▶ 本体上部にお湯が通るためです。故障ではありません。
作動音や振動が大きい。	▶ 本体内のポンプで水をくみあげ、本体内に水を通す音です。故障ではありません。

消耗品・別売品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページでお買い求めください。

◆樹脂部品(傷んできたとき)

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があるので交換してください。
(有償修理)

◆パッキン・メッシュフィルター(消耗品)

汚れやおいがひどくなったり、破損したときは、上記でお買い求めください。

仕様

電源	消費電力(W)	満水容量*(L)	抽出方式	外形寸法*(cm)			質量*(kg)	コードの長さ*(m)
				幅	奥行	高さ		
100V 50-60Hz	1000	0.45	ドリップ式	19.9	26.4	24.9	2.1	1.25

*印は、おおよその数値です。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな?と思ったら」→P. 25・26 をご覧になり、お調べください。それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。(消耗品は除きます。)

保証書の記載内容に基づき修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼されるとき

保証期間内 … おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎているとき … まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名 ②品番 ③製品の状況(できるだけくわしく)

4 コーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 … 不具合内容の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業(修理および部品交換・調整・修理後の点検など)の料金です。

部品代 … 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口(→下記)までご連絡ください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。

連絡先 タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

有料でご案内させていただいております。

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合は
こちらへ

TEL(06)6906-2121

●受付時間 AM9:00~PM5:00 月曜日~金曜日 (祝日・弊社休業日を除きます。)

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.tiger.jp/>

消耗品・別売品のご購入ホームページ <http://www.tiger.jp/shop.html>